

2022 年度事業計画書

〔 2022 年 4 月 1 日から
2023 年 3 月 31 日まで 〕

当財団は、「産業、経済、文化の発展に貢献する科学技術、芸術等を中心とする分野で著しい貢献をした者の顕彰、研究又は普及啓発に対する助成等を通じてその促進を図ると共に国際相互理解の増進に努め、もって社会の啓発に貢献し、人類の平和と繁栄に寄与する」ことを目的として、1984 年(昭和 59 年)4 月 12 日に設立され、1985 年(昭和 60 年)に第 1 回京都賞授賞式、第 1 回研究助成金贈呈式を開催して事業を開始した。本年度は、引き続きの新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じながら、各事業を推進する。

2022 年度事業計画（概要）

I. 顕彰事業

1. 第 36 回(2021)京都賞関連行事「Kyoto Prize at Oxford」(英国オックスフォード)の支援
2. 第 37 回(2022)京都賞受賞者の審査及び決定
対象分野 先端技術部門 : エレクトロニクス
基礎科学部門 : 生物科学(進化・行動・生態・環境)
思想・芸術部門 : 音楽
第 37 回(2022)京都賞授賞式及び関連行事の開催
第 37 回(2022)京都賞関連行事「京都賞シンポジウム」(米国サテイク)の支援及び寄附
3. 第 38 回(2023)京都賞候補者推薦の受付及び審査選考の開始
4. 第 39 回(2024)京都賞授賞対象分野及び審査機関委員の決定

II. 研究助成事業

1. 稲盛研究助成
 - ・ 2022 年度 稲盛研究助成金の贈呈
 - ・ 2023 年度 稲盛研究助成の申請受付と助成対象案件の審査及び決定
 - ・ 2024 年度 稲盛研究助成選考委員の決定
2. 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップ
 - ・ 2022 年度 InaRIS フェロー称号の授与
 - ・ 2022 年度 アドバイザリーボードミーティングの開催
 - ・ 2022 年度 中間審査会の開催
 - ・ 2023 年度 InaRIS フェローシップの申請受付と InaRIS フェローの審査及び決定
 - ・ 2023 年度 InaRIS 運営委員の決定
 - ・ 2024 年度 InaRIS 助成対象領域及び InaRIS フェロー選考委員の決定

III. 社会啓発事業

1. こどものキズキ応援プロジェクトの推進
2. 文化芸術振興プログラム(音楽)の立ち上げ及び実施
3. 「京都大学ー稲盛財団合同京都賞シンポジウム」の支援
4. 京都大学への寄附
5. 米国「倫理と叡智のための稲盛国際センター」の活動支援

I. 顕彰事業

1. 第36回(2021)京都賞に関する事項

- (1) 英国オックスフォード大学主催「Kyoto Prize at Oxford」の開催支援
2022年5月、第36回(2021)京都賞受賞者を迎えて開催される英国オックスフォード大学主催の第5回「Kyoto Prize at Oxford」を支援すると共に、英国から、欧州及び世界に向けて京都賞を発信する。

2. 第37回(2022)京都賞に関する事項

- (1) 京都賞審査機関による審査
第37回(2022)京都賞審査機関の各部門専門委員会及び審査委員会にて審査選考された候補者を、2022年4月開催の京都賞委員会にて審査の上、最終候補者を選定し、同年6月開催の定時理事会に上申する。
- (2) 受賞者の決定と発表
京都賞委員会から上申された最終候補者を、2022年6月開催の定時理事会にて承認、決定する。また、受賞者が決定次第、本人へ通知すると共に、受賞者名を公表する。
- (3) 授賞式及び関連行事の開催
例年11月10日に京都賞授賞式を、授賞式の前後に「京都賞ウイーク」として関連行事を実施しているが、第37回(2022)京都賞については、新型コロナウイルス感染症に関する状況を考慮し、各行事の開催方法等を決定する。
- (4) 米国サンディエゴにおける「京都賞シンポジウム」開催支援及び寄附
2023年3月、第37回(2022)京都賞受賞者を迎えて米国サンディエゴにて開催される「第21回(2023)京都賞シンポジウム」を支援し、2019年に再調印した「京都賞シンポジウム覚書」に基づき、主催の京都賞シンポジウム組織及び共催大学(カリフォルニア大学サンディエゴ校、ポイント・ロマ・ナザレン大学)に対して第4回目35万ドルの寄附を実施する。(2019年度から2022年度までの4年間で総額140万ドルを寄附)

3. 第38回(2023)京都賞に関する事項

- (1) 推薦依頼の発送と受付
推薦依頼先の名簿を作成し、推薦依頼を行うと共に、推薦の受付を行う。

- (2) 京都賞審査機関委員の委嘱
第38回(2023)京都賞審査機関委員に対し、2022年8月又は9月開催の第38回(2023)京都賞審査機関合同会議にて委嘱を行う。
- (3) 京都賞審査機関による審査
第38回(2023)京都賞審査機関にて、候補者の審査選考を行う。
- (4) 授賞式及び関連行事の企画
第38回(2023)京都賞授賞式及び関連行事の企画を行う。

4. 第39回(2024)京都賞に関する事項

- (1) 授賞対象分野の決定
第39回(2024)京都賞授賞対象分野を、2022年10月開催の臨時理事会にて承認、決定する。
- (2) 京都賞審査機関委員の決定
第39回(2024)京都賞審査機関委員を、2022年10月開催の臨時理事会にて承認、決定する。

II. 研究助成事業

1. 稲盛研究助成

(1) 2022年度 稲盛研究助成に関する事項

- ① 2022年度稲盛研究助成金の贈呈
2022年度稲盛研究助成対象者に助成金を贈呈する。ただし、例年4月に京都市内にて実施する稲盛研究助成金贈呈式及び同時開催する盛和スカラーズソサエティ交流会は、新型コロナウイルス感染症に関する状況を考慮し、中止とする。

(2) 2023年度 稲盛研究助成に関する事項

- ① 募集要項の発送と受付
募集要項を発送すると共に、ウェブにて申請の受付を行う。
- ② 稲盛研究助成選考委員会による選考
2022年12月開催の稲盛研究助成選考委員会にて、助成対象者の選考を行う。

③ 稲盛研究助成対象者の決定と発表

稲盛研究助成選考委員会にて選考した助成対象者を、2023年3月開催の定時理事会にて承認、決定する。なお、助成対象者は50名、研究助成金は1名あたり100万円（「伯楽」の場合、2年間で200万円）とし、助成対象者が決定次第、本人へ通知すると共に、氏名を発表する。

(3) 2024年度 稲盛研究助成に関する事項

① 稲盛研究助成選考委員の決定

2024年度稲盛研究助成選考委員を、2023年3月開催の定時理事会にて承認、決定する。

2. 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップ

(1) 2022年度 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップに関する事項

① 2022年度 InaRIS フェロー称号の授与

2022年度 InaRIS フェローに称号を授与する。なお、2022年度 InaRIS フェロー称号授与式は、新型コロナウイルス感染症に関する状況を考慮し、開催方法を決定する。

② 2022年度アドバイザーボードミーティングの開催

2022年10月開催のアドバイザーボードミーティングにて、在籍する InaRIS フェローの1年間の研究成果と今後1年間の研究計画を報告する。

③ 2022年度中間審査会の開催

2022年10月開催の中間審査会にて、助成開始から3年目の InaRIS フェローより、3年間の研究成果と今後3年間の研究計画の報告を受ける。

(2) 2023年度 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップに関する事項

① 募集要項の発送と受付

募集要項を発送すると共に、ウェブにて申請の受付を行う。

② InaRIS フェロー選考委員会による選考

2022年11月及び2022年12月開催の InaRIS フェロー選考委員会にて、助成対象者の選考を行う。

③ InaRIS フェローの決定と発表

InaRIS フェロー選考委員会にて選考した InaRIS フェローを、2023 年 3 月開催の定時理事会にて承認、決定する。なお、InaRIS フェローは 2 名、各 1 名につき 1 年あたり 1,000 万円を 10 年間（合計 1 億円）助成するものとし、InaRIS フェローが決定次第、本人へ通知する。

④ InaRIS 運営委員の決定

2023 年度 InaRIS 運営委員を、2023 年 3 月開催の定時理事会にて承認、決定する。

(3) 2024 年度 稲盛科学研究機構（InaRIS）フェローシップに関する事項

① InaRIS 助成対象領域の決定

2024 年度 InaRIS 助成対象領域を、2023 年 1 月開催の InaRIS 運営委員会にて承認、決定する。

② InaRIS フェロー選考委員の決定

2024 年度 InaRIS フェロー選考委員を、2023 年 3 月開催の定時理事会にて承認、決定する。

Ⅲ. 社会啓発事業

1. こどものキヅキ応援プロジェクトの推進

「こどもたちが不思議を見つけて、自ら深め、連鎖的に増やすことを応援する」をコンセプトに、こどもたちのキヅキを促し、受け止め、答えを出す場ではなく自分で調べてみようと思うきっかけとなる場を提供する。本年度は、小学生向けウェブコンテンツ「キヅキランド」をリリースし、オンラインワークショップを開催する。また、コンセプトを共有するパートナーと協働するイベント「キヅキひろば」を展開する。

2. 文化芸術振興プログラム（音楽）の立ち上げ及び実施

音楽分野の振興を目的として「文化芸術振興プログラム（音楽）」を立ち上げ、音楽を通して、若い世代を含む多くの市民が心豊かな感動を得る機会を創出する。本年度より、京都市交響楽団によるコンサートを中心とした音楽イベントを 11 月 3 日（文化の日）に定例開催する。

3. 「京都大学－稲盛財団合同京都賞シンポジウム」の支援及び寄附

2022年3月再調印の寄附覚書に基づき、京都賞に対する社会の期待と関心を高めるとともに、学術・芸術の振興に寄与し、併せて京都大学と当財団の協力関係を強化することを目的に、「京都大学－稲盛財団合同京都賞シンポジウム」の開催を支援し、第1回2,000万円の寄附を実施する。(2022年度から2025年度までの4年間で総額8,000万円を寄附予定)

4. 京都大学への寄附

創立125周年を迎える京都大学の基本理念に賛同し、120年余にわたる力強い歩みを確実に未来に繋ぎ、新たな知的価値の創出と豊かな人材の養成によって社会に貢献する大学であり続けることを掲げる同大学を支援するため、1億円の寄附を実施する。

5. 米国「倫理と叡智のための稲盛国際センター」の活動支援

当財団からの寄附金(総額1,100万ドル)で設立されたケースウエスタンリザーブ大学「倫理と叡智のための稲盛国際センター」が開催する稲盛倫理賞関連行事をはじめ、同センターの活動に協力する。

IV. その他

1. 広報活動

(1) 記者発表

2022年6月に京都賞受賞者発表記者会見を実施する。その他、関係記者クラブ及び記者に対し、プレス資料を随時配布する。

(2) 刊行物の発刊

下記の刊行物を発刊し、関係先へ配布する。

- ・「稲盛財団ニュース」(紙媒体で随時発行)

(3) 電子媒体による情報発信

下記の電子媒体を通じて、京都賞や当財団の活動に関係する情報を発信する。

- ・稲盛財団ホームページ

- ・京都賞紹介サイト
- ・SNS (Facebook、Twitter、YouTube)
- ・メールマガジン「稲盛財団 Magazine」「Inamori Foundation e-Newsletter」
(随時発行)
- ・3S 会員専用メール「3S Magazine」(日本語、年数回発行)

(4) 各施設での展示

下記の施設で京都賞及び稲盛財団を紹介する展示を行う。

- ・京都市京セラ美術館 (常時)
- ・鹿児島大学 稲盛記念館 (常時)
- ・京セラ株式会社 稲盛ライブラリー (常時)
- ・京都市青少年科学センター (常時)